

3月17日(金)～4月5日(水)

JDS 大阪支部



今年も賑わった「世界ダウン症の日写真展 in 大阪 2017」

3月17日から4月5日の20日間、「世界ダウン症の日写真展 in大阪 2017」が、大阪市西区の市立中央図書館で開催されました。市立中央図書館での開催は、昨年に続いて2回目です。今年は展示スペースの都合上、通路の片側壁面だけの展示になったため、展示点数を昨年より3割減らし72点としました。1枚ずつの写真サイズが昨年より大きくなり、より見やすくなりました。

来場者は、地元の大阪市民が多い中、京阪神などからも足を運んでくださった方々がおられました。会期中に図書館を利用した人は約8万3,000人。うち、会場を訪れた人は約8,700人とみられています。

3月20日(月・祝)の午後には、

同図書館5階フロアで「ダウン症の日フェスタ」を開催。大会議室でのステージやワークショップ、講演会、相談会など様々なイベントに350人を超える観客が訪れ、玉井浩大阪支部長は感謝のコメントを発表しました。

【大阪支部 広報：今村 仁司】



3月20日には「ダウン症の日フェスタ」も同時開催

3月20日(月・祝)

JDS 埼玉浦和支部



県内各地から約240名が参加してスポーツにチャレンジ

3月20日、埼玉県障害者交流センターで、「世界ダウン症の日」関連イベントとして「チャレンジ・ザ・スポーツ」を開催しました。このイベントに先立ち、「絆」のパンフレットをショッピングセンターで配布し、当日はダウン症のある人たちの作品展も開催して多くの方に見ていただくなど、ダウン症への理解を呼びかけました。

スポーツイベントでは、交流センタースポーツ担当のスタッフの皆様や多くのボランティアの方々のお借りして、ダウン症のある人たち98名、その他関係者を合わせて約240名が県内各地から参加。ふうせんバレーのリーグ戦や、キックターゲット・ボウリング・フライングディスクなどのミニゲーム

もあり、思いきり楽しみました。

最後はみんなでダンス！大人も子どもも、お母さん・お父さんも、みんなで踊るダンスは圧巻です。一体感もすばらしく、見ていたみなさんも感動していました。

【埼玉浦和支部 広報担当：佐藤 美也子】



体を動かす楽しさを感じ、多くの人とつながったスポーツイベント「チャレンジ・ザ・スポーツ」